



## 2024年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年4月12日

上場会社名 株式会社デザインワン・ジャパン 上場取引所 東  
コード番号 6048 URL <https://www.designone.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高島 靖雄  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 田中 誠 (TEL) 03(6421)7438  
四半期報告書提出予定日 2024年4月12日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年8月期第2四半期の連結業績(2023年9月1日~2024年2月29日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第2四半期	1,137	△7.7	△75	—	△68	—	△188	—
2023年8月期第2四半期	1,233	11.6	57	△41.6	68	△45.8	32	—

(注) 包括利益 2024年8月期第2四半期 △159百万円( —%) 2023年8月期第2四半期 24百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第2四半期	△12.76	—
2023年8月期第2四半期	2.22	2.22

(注) 2024年8月期第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第2四半期	3,546	2,952	83.3
2023年8月期	3,672	3,111	84.7

(参考) 自己資本 2024年8月期第2四半期 2,952百万円 2023年8月期 3,111百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年8月期	—	0.00	—	—	—
2024年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日~2024年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,473	1.8	△144	—	△140	—	△260	—	△17.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 -社(社名) - 、除外 -社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年8月期2Q	15,179,900株	2023年8月期	15,173,900株
② 期末自己株式数	2024年8月期2Q	426,258株	2023年8月期	426,258株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年8月期2Q	14,748,894株	2023年8月期2Q	14,745,542株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予測等の将来に関する記載につきましては、本資料発表時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
第2四半期連結累計期間 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しや雇用情勢の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調となる一方で、資源価格の高騰や円安による物価上昇等の影響が懸念される状況となっております。

世界経済におきましても、世界的な金融引き締め政策の継続、中国の景気回復遅れに加えて、ウクライナ及び中東情勢の地政学リスクによる影響等により、依然として先行きは不透明な状況が続いています。

このような経営環境のもと、当社グループは「Webマーケティング技術」や「システム開発力」を活かし、店舗情報口コミサイト「エキテン」を中心にサービスを提供するとともに、子会社を通じた事業の多角化を積極的に促進いたしました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、当社グループの主力事業である店舗情報口コミサイト「エキテン」の低迷を主因として、1,137,779千円（前年同四半期比7.7%減）となりました。利益につきましては、売上高減少と子会社において売上原価が増加した影響により、販売費及び一般管理費は減少したものの、営業損益は75,369千円（前年同四半期は57,738千円の利益）の損失、経常損益は68,920千円（前年同四半期は68,609千円の利益）の損失、親会社株主に帰属する四半期純損益は、子会社ののれんについて減損処理を行った結果、188,220千円の損失（前年同四半期は32,807千円の利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来「その他」としておりました「HRソリューション事業」を報告セグメントへ記載する方法に変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

#### (インターネットメディア事業)

当社グループの主力事業である店舗情報口コミサイト「エキテン」におきましては、新規店舗の獲得を進めるために様々な施策に取り組んでおります。商品力の強化においては、他サービスとの連携を進めて、店舗がより使いやすいシステム開発に継続的に取り組みました。販売面での取り組みとしては、無料会員の獲得率向上に向けたサイト改修、および元正会員の対する販売の強化などに注力いたしました。しかしながら、検索サイトのアルゴリズム変更に対する対応遅れに加えて、受注の減少と解約抑制に歯止めがかからず、厳しい状況が続きました。

その結果、当第2四半期連結累計期間末における「エキテン」の無料店舗会員数は314,436店舗、有料店舗会員数は15,099店舗（前連結会計年度末比1,343店舗減少）となり、売上高は減少いたしました。

また、専門業者（遺品整理、片付け等）のマッチング・サイトを運営するオコマリ株式会社につきましては、売上高は大口取引先からの紹介案件が低調に推移して減収となり、販売費及び一般管理費の抑制に努めたものの、利益も厳しい結果となりました。

これらの結果、インターネットメディア事業の売上高は716,110千円（前年同四半期比16.1%減）となりました。セグメント利益につきましては、販売費及び一般管理費の抑制に努めたものの、売上高減少の影響により92千円の損失（前年同四半期は113,969千円の利益）となりました。

#### (DXソリューション事業)

売上高につきましては、ベトナムのシステム開発子会社であるNitro Tech Asia Inc Co. Ltd.を活用したオフショア開発事業は伸び悩んだものの、ポスティングやWeb広告を事業内容とする株式会社DEECHはWeb広告が好調で、Web制作・受託開発・ホスティングサービスなどを展開している株式会社イー・ネットワークスも増収を維持いたしました。利益につきましては、売上原価の増加が大きかったことに加えて、社員数の増加により販売費及び一般管理費の負担も増加した結果、赤字幅が拡大いたしました。

この結果、DXソリューション事業の売上高は400,930千円（前年同四半期比12.6%増）、セグメント損失は43,982千円（前年同四半期はセグメント損失37,520千円）となりました。

#### (HRソリューション事業)

株式会社昼jobの人材紹介サービスは、ナイトワーク出身者の求職環境は依然として厳しい中、引き続き求職者登録数の減少などの影響を受けました。

この結果、HRソリューション事業の売上高は29,285千円（前年同四半期比32.8%減）、セグメント損失は販売費及び一般管理費の抑制に努めたものの、5,159千円（前年同四半期はセグメント利益3,831千円）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### （資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ126,444千円減少し、3,546,260千円となりました。

これは主に、有価証券の増加（前連結会計年度末比100,000千円増）及び、売掛金の増加（前連結会計年度末比29,031千円増）等がありましたが、無形固定資産の減少（前連結会計年度末比95,254千円減）、投資有価証券の減少（前連結会計年度末比64,150千円減）、現金及び預金の減少（前連結会計年度末比60,810千円減）及び、流動資産その他の減少（前連結会計年度末比31,954千円減）等によるものです。

#### （負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末に比べ32,884千円増加し、593,928千円となりました。

これは主に、長期借入金の減少（前連結会計年度末比18,185千円減）等がありましたが、固定負債その他の増加（前連結会計年度末比31,553千円増）及び、流動負債その他の増加（前連結会計年度末比19,734千円増）等によるものであります。

#### （純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ159,329千円減少し、2,952,332千円となりました。

これは主に、その他有価証券評価差額金の増加（前連結会計年度比27,045千円増）等がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等による利益剰余金の減少（前連結会計年度末比188,220千円減）等によるものであります。

### ②キャッシュ・フローの分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ81,550千円減少し、2,463,201千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれぞれの主な要因は以下のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動により使用した資金は、33,548千円（前年同四半期は、118,611千円の収入）となりました。

これは主に、減損損失92,888千円、法人税等の還付額28,746千円、未払費用の増加額20,524千円、その他の増加額13,190千円、貸倒引当金の増加額7,743千円の収入要因及び、税金等調整前四半期純損失161,809千円、売上債権の増加額23,961千円、前払費用の増加額13,448千円の支出要因によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は、29,188千円（前年同四半期は、45,505千円の収入）となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入176,900千円があった一方で、定期預金の預入による支出197,640千円によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は、18,813千円（前年同四半期は、7,347千円の支出）となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出18,370千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の連結業績予想につきましては、2023年10月13日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「特別損失の計上及び2024年8月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,360,692	2,299,881
売掛金	160,353	189,385
契約資産	14,731	11,965
有価証券	400,000	500,000
仕掛品	59	253
貯蔵品	3,267	2,962
その他	81,649	49,694
貸倒引当金	△19,291	△23,891
流動資産合計	3,001,462	3,030,249
固定資産		
有形固定資産	46,367	45,191
無形固定資産	102,605	7,350
投資その他の資産		
投資有価証券	344,568	280,417
その他	179,930	188,421
貸倒引当金	△2,226	△5,370
投資その他の資産合計	522,271	463,468
固定資産合計	671,243	516,010
資産合計	3,672,705	3,546,260

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	13,798	17,612
1年内返済予定の長期借入金	37,695	37,510
未払金	155,251	152,801
未払法人税等	11,215	13,376
役員賞与引当金	166	41
賞与引当金	7,164	4,222
ポイント引当金	4,294	3,786
その他	100,896	120,630
流動負債合計	330,482	349,981
固定負債		
長期借入金	186,814	168,629
資産除去債務	36,512	36,529
その他	7,234	38,788
固定負債合計	230,561	243,946
負債合計	561,043	593,928
純資産の部		
株主資本		
資本金	648,999	649,089
資本剰余金	629,981	630,071
利益剰余金	1,834,009	1,645,789
自己株式	△100,186	△100,186
株主資本合計	3,012,803	2,824,763
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,173	63,218
為替換算調整勘定	62,684	64,350
その他の包括利益累計額合計	98,858	127,568
純資産合計	3,111,661	2,952,332
負債純資産合計	3,672,705	3,546,260

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
売上高	1,233,126	1,137,779
売上原価	303,316	374,986
売上総利益	929,810	762,793
販売費及び一般管理費	872,071	838,162
営業利益又は営業損失(△)	57,738	△75,369
営業外収益		
受取利息	5,258	8,599
その他	21,490	3,266
営業外収益合計	26,748	11,865
営業外費用		
支払利息	794	1,445
貸倒引当金繰入額	8,514	-
貸倒損失	3,091	9
投資事業組合運用損	3,330	3,134
その他	144	827
営業外費用合計	15,876	5,416
経常利益又は経常損失(△)	68,609	△68,920
特別利益		
新株予約権戻入益	42	-
特別利益合計	42	-
特別損失		
固定資産除却損	0	-
減損損失	-	92,888
特別損失合計	0	92,888
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	68,651	△161,809
法人税、住民税及び事業税	37,049	8,709
法人税等調整額	△1,205	17,701
法人税等合計	35,843	26,411
四半期純利益又は四半期純損失(△)	32,807	△188,220
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	32,807	△188,220

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	32,807	△188,220
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△118	27,045
為替換算調整勘定	△8,362	1,665
その他の包括利益合計	△8,480	28,710
四半期包括利益	24,326	△159,509
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,326	△159,509

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	68,651	△161,809
減価償却費	5,533	5,673
減損損失	-	92,888
のれん償却額	15,466	7,663
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,832	7,743
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△118	△125
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,594	△2,941
ポイント引当金の増減額(△は減少)	320	△508
受取利息	△5,258	△8,599
支払利息	794	1,445
有形固定資産除却損	0	-
投資事業組合運用損益(△は益)	3,330	3,134
売上債権の増減額(△は増加)	△21,122	△23,961
契約資産の増減額(△は増加)	△347	2,766
棚卸資産の増減額(△は増加)	△213	112
前払費用の増減額(△は増加)	1,880	△13,448
仕入債務の増減額(△は減少)	5,067	3,814
未払金の増減額(△は減少)	89,295	△2,911
未払費用の増減額(△は減少)	△7,995	20,524
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	44	△363
預り金の増減額(△は減少)	△2,419	225
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3,753	1,569
未収消費税の増減額(△は増加)	-	△4,391
その他	23,837	13,190
小計	168,566	△58,307
利息及び配当金の受取額	5,319	3,752
利息の支払額	△796	△1,478
法人税等の支払額	△54,477	△6,259
法人税等の還付額	-	28,746
営業活動によるキャッシュ・フロー	118,611	△33,548

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,059	△1,698
無形固定資産の取得による支出	-	△1,000
投資有価証券の取得による支出	△21,691	-
投資有価証券の売却による収入	100,000	-
敷金の差入による支出	△88	-
定期預金の預入による支出	△149,640	△197,640
定期預金の払戻による収入	115,420	176,900
長期貸付金の回収による収入	1,759	-
事業譲受による支出	-	△5,720
その他	805	△29
投資活動によるキャッシュ・フロー	45,505	△29,188
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△6,792	△18,370
株式の発行による収入	-	180
その他	△555	△623
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,347	△18,813
現金及び現金同等物に係る換算差額	△530	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	156,238	△81,550
現金及び現金同等物の期首残高	2,521,777	2,544,752
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,678,015	2,463,201

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(追加情報)

(連結子会社における訴訟について)

連結子会社である株式会社イー・ネットワークスに対して、2022年1月21日に元株主から一部の株式について株主であることを主張する旨の訴訟が提起されておりましたが、2024年2月9日に棄却となり、勝訴いたしました。当該判決を受け、2024年2月19日に元株主から控訴が提起されております。

当社グループとしましては、原告の主張には合理性がないものとして、原告の請求の棄却を主張して参ります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	インター ネットメ ディア事業	DXソリュー ション事業	HRソリュー ション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	853,985	336,744	42,396	1,233,126	—	1,233,126
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	19,265	1,200	20,465	△20,465	—
計	853,985	356,009	43,596	1,253,591	△20,465	1,233,126
セグメント利益又は損 失(△)	113,969	△37,520	3,831	80,280	△22,542	57,738

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△22,542千円には、セグメント間取引消去10,885千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△33,428千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	インター ネットメ ディア事業	DXソリュー ション事業	HRソリュー ション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	716,110	392,983	28,685	1,137,779	—	1,137,779
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	7,947	600	8,547	△8,547	—
計	716,110	400,930	29,285	1,146,327	△8,547	1,137,779
セグメント損失(△)	△92	△43,982	△5,159	△49,234	△26,134	△75,369

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△26,134千円には、セグメント間取引消去8,298千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△34,433千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

「インターネットメディア事業」セグメントにおいて、オコマリ株式会社に係るのれんについて、当初想定していた収益の達成は困難であると判断したことから、92,888千円を減損損失として計上いたしました。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「その他」としておりました「HRソリューション事業」の量的な重要性が増したため、報告セグメントへ記載する方法に変更いたしました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。